

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	楽器レッスン2（ギター）	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間		授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	内田 充		実務経験の有無・職種	有・プロギタリスト	
学習目的					
多くの課題曲から、多くの情報を分析できる力を養う。この科目を受講する学生には、ギターという楽器により強く興味を持ち、ギターを使って様々な楽曲や演奏スタイルに触れることで、ギタリストの視線から作曲・アレンジ力を養っていくことを目的とする。ギターの上達には、能動的な態度で音楽に向きあうことが必須である。日々生まれる疑問点を、毎回の授業で手厚くサポートし、個々の実力アップに集中できる講義。インプロヴィゼーションのスキルを向上させる。					
到達目標					
課題曲に必要なテクニックを習得し、課題曲にチャレンジ、その後、課題曲のテクニックを別の楽曲でも行かせることを体感する。すべての知識、スキル、テクニックはつながっていることを自覚できる。ギタリストとして必要な基本的な知識とテクニックを習得することを目標とし、プロギタリストとして、なにが必要なのか。習得すべきテクニック、スキルは何かを自覚できるようになる。最終的には、プロレベルのインプロヴィゼーションができるようになる。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、演奏の基礎となるチューニングの仕方から始めます。ギターを演奏する度に出てくる疑問点、より自分をプレイを良くする為には、何が必要なのか？この授業で深く掘り下げます。コードワークとメロディワーク、音楽を奏でる動機付けとなるフレーズなど多くのジャンルから紹介していく。簡単なリズムトレーニングなどについて触れて行く。				
注意点	この授業では、理由のない遅刻・欠席は認めない。また学生間、講師と学生とのコミュニケーション力向上のために、なるべく自己から発言する機会を増やして行く。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	バレーコードとシンコペーションを知る①		バレーコード、シンコペーションを知る		
2回	バレーコードとシンコペーションを知る②		バレーコード、シンコペーションを用いた演奏		
3回	16ビートのコードバック		Funk系16ビートのコードバックを演奏		
4回	16ビートコードバックとシャッフル		Funk系16ビートのコードバックのバリエーションを覚える		
5回	ロックの名曲のギターリフの分析		コードリフの練習 『Are You Gonna Go My Way』ベンディングの習得		
6回	ロックの名曲のギターリフの演習		コードリフの練習 『Are You Gonna Go My Way』弦飛びピッキングの習得		
7回	マイナーペンタトニックスケールを弾く		『Are You Gonna Go My Way』Emペンタトニックスケールを覚える		
8回	メジャーペンタトニックスケールを弾く		『Are You Gonna Go My Way』Eメジャーペンタトニックスケールを覚える		
9回	メジャーとマイナーを使い分ける		有『Are You Gonna Go My Way』Em,Eメジャーペンタトニックスケールを交互に演奏		
10回	ブルーノートスケールを入れたスケール		マイナーペンタトニックスケールにブルーノートをいれて演奏する		
11回	ブルーノートスケールを入れたスケール		マイナーペンタトニックスケールにブルーノートをいれて演奏。オクターブポジションへの発展		
12回	インプロビゼーション初級編		インプロビゼーション その1 課題曲『Sunny』		
13回	インプロビゼーション中級編		インプロビゼーション その2 課題曲『Sunny』		
14回	インプロビゼーション応用編		インプロビゼーション その3 課題曲『Sunny』		
15回	まとめ		全体のまとめ		